

2009年度 環境活動レポート

(平成21年1月1日～平成21年12月31日)



発行日：2010年2月28日

高島電機株式会社

〒990-2251 山形市立谷川1丁目1059-6

TEL023-686-5522 FAX023-686-5649

目次

1 . 環境経営方針	1
2 . 事業活動の概要	2
3 . 環境経営システム実施体制	3
4 . 環境目標とその実績	4
4 - 1 . 環境負荷の現状	4
4 - 2 . 環境目標項目の選定	4
4 - 3 . 環境目標（短期・長期）の考え方	5
4 - 4 . 環境目標値と取組の結果	6
5 . 主要な環境活動計画の内容	7
5 - 1 . 二酸化炭素排出量	7
5 - 2 . 廃棄物排出量	7
5 - 3 . 総排水量	7
5 - 4 . 化学物質使用量	7
5 - 5 . 省エネ商品の販売促進と情報提供	7
5 - 6 . 地域環境保全活動ならびに環境教育	7
6 . 環境活動の取組結果の評価	8
6 - 1 . 二酸化炭素排出量	8
6 - 2 . 廃棄物量	8
6 - 3 . 総排水量	8
6 - 4 . 化学物質使用量	9
6 - 5 . 省エネ商品の販売促進と情報提供	9
6 - 6 . 地域環境保全活動ならびに環境教育	9
7 . 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9



< 酒田営業所 >



< 南陽営業所 >

1 . 環境経営方針

< 環境理念 >

地球温暖化防止など地球規模の環境問題解決への取組が、今や人類共通のテーマになりつつあります。エネルギーを消費する電気機器等の販売をしている我社にも大きな責務があることを社員一人一人が自ら自覚し、率先して、その取組を推進して行かなければなりません。

企業活動を行うにあたっては、全従業員の参加により、継続的に環境負荷の削減に努めるとともに、省エネ商品の販売・提案などを通じて、地域の環境保全に貢献し、もって次世代に安全で豊かな地球環境を引き継ぐことを目指します。

< 環境活動指針 >

- 1 . 高島電機（株）は、環境関連法規を遵守します。
- 2 . 高島電機（株）は、自主目標を定め、二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量・化学物質使用量の削減に努めます。
- 3 . 高島電機（株）は、省エネ商品の販売及び省エネ技術の提供により、地域社会の環境負荷削減に貢献します。
- 4 . 高島電機（株）は、全従業員に対して環境教育を行い、「エコアクション21」の周知徹底を図り、従業員ひとりひとりの環境保護への意識を高めます。



2008年8月1日

高島電機株式会社

代表取締役 井上弓子

2 . 事業活動の概要

2 - 1 . 事業者及び代表者名

高 島 電 機 株 式 会 社
代表取締役社長 井 上 弓 子

2 - 2 . 所在地

本 社 : 〒990-2251 山形県山形市立谷川1丁目 1059-6
酒田営業所 : 〒998-0875 山形県酒田市東町1丁目 20-7
南陽営業所 : 〒999-2242 山形県南陽市中ノ目字入生免 143-3

2 - 3 . 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 取締役 駒 沢 孫 兵 衛
副環境管理担当者 : 総務課長 丹 野 貞 幸
環境管理事務局 : 滝口律子・佐藤 薫・鈴木秀明
連絡先 : TEL023-686-5522 FAX023-686-5649
Email (環境管理責任者) : mago-komazawa@takashima-denki.co.jp

2 - 4 . 創 業

1927 (昭和2)年

2 - 5 . 資本金

4 , 0 0 0 万円

2 - 6 . 事業の内容

高低圧電設資材、制御機器及び関連する商品の卸業、高低圧配電盤、
自動制御盤、キュービクル設計及び製造

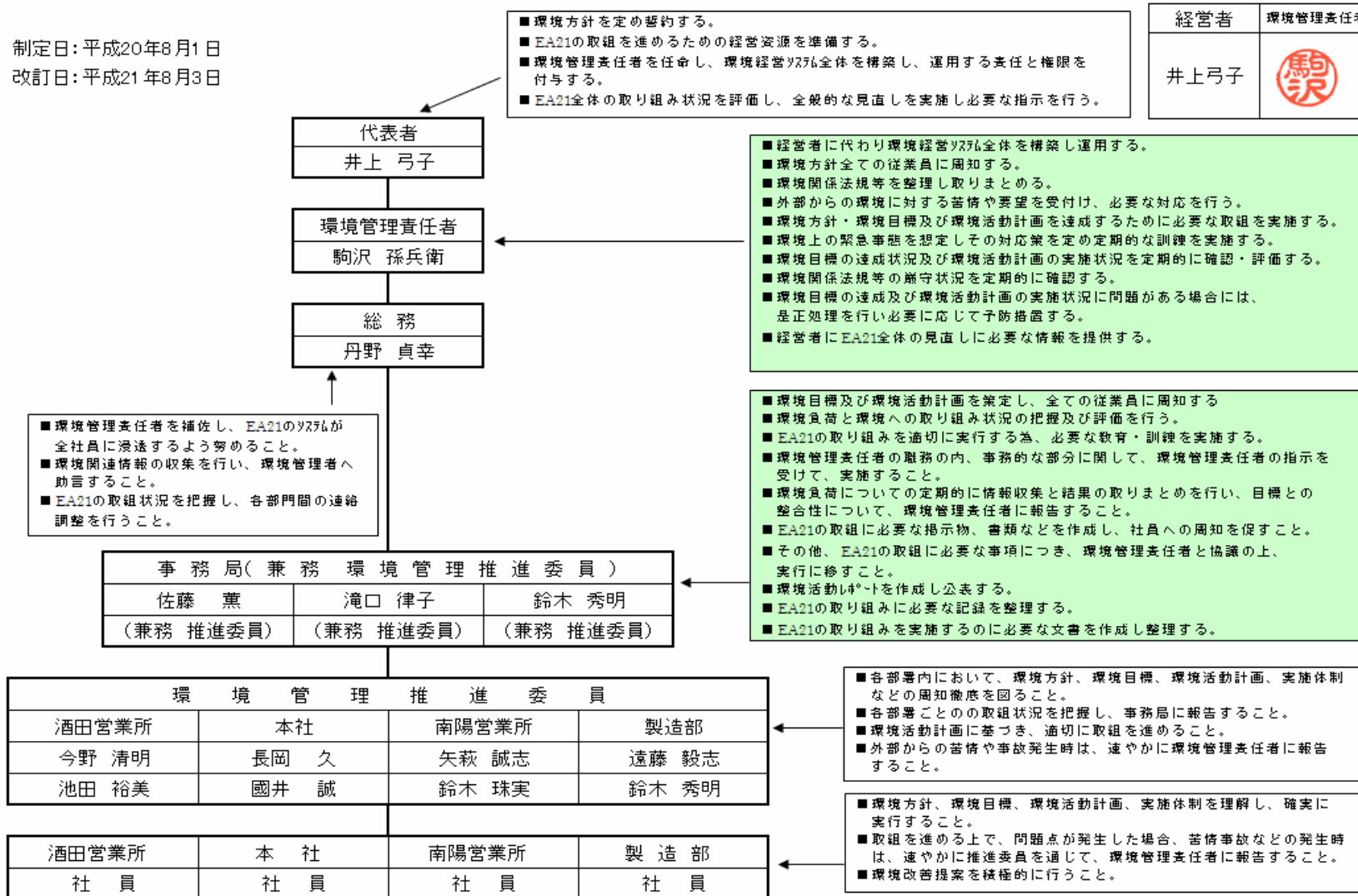
2 - 7 . 事業の規模

	2008年	2009年
売上高	4360百万円	2892百万円
従業員数	95人	88人
床面積	本 社 : 2843 m ² 酒田営業所 : 578 m ² 南陽営業所 : 662 m ²	

注) 売上金額は、当社会計年度(1月~12月まで)による。

3. 環境経営システム実施体制

制定日:平成20年8月1日
改訂日:平成21年8月3日



4 . 環境目標とその実績

4 - 1 . 環境負荷の現状

二酸化炭素排出量

2008 (H20) 年度における当社の環境負荷を把握した結果、二酸化炭素発生量は全体で387CO₂-tと一般家庭 (年間 5.2 CO₂-t) 74 軒分に相当していました。このうち、化石燃料の消費に伴うものは 277 CO₂-t で 72% となっており、その中でもガソリンと軽油の消費による二酸化炭素発生量は 263 CO₂-t と全体の 68% を占めていました。これは、営業ならびに業務関係に使用する車両の運行に伴い使用するものです。電気使用に伴うものは 109 CO₂-t で 28% となっていました。この他、灯油、LPG などの使用がありますが、これは、暖房用ならびに本社製造部における塗装作業などの用途に使用しています。

廃棄物排出量

廃棄物排出量については、有価物、事業系一般廃棄物、産業廃棄物があり 2009 年度は定められた分別方法に従い、今まで本社一括で管理していた産業廃棄物に関しては、各拠点単位で排出量を把握する事とします。

総排水量

総排水量については、上水以外の使用はないことから、水道使用量で管理をしています。2008 (H20) 年度は全体で 1342m³ と 25m プール (25 × 17 × 1.5) 約 2 杯分の水を使用していました。水は、生活用水の他に本社において、パーカー処理 (塗装作業の前処理としての脱脂工程) に使用しています。

その他の環境負荷

この他、本社製造部の塗装工程において 塗料ならびにシンナー などをしており、使用量及びこれらに含まれる化学物質 (トルエン・キシレン) の含有量把握を適切に管理していきます。

4 - 2 . 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の 8 項目について、環境目標を設定しました。

必須項目

- 1) 二酸化炭素排出量 2) 廃棄物排出量 3) 総排水量

自主設定項目

- 4) 化学物質使用量 5) 省エネ商品の販売促進 6) 省エネに関する情報提供
7) 地域環境保全への協力 (山形エコアクション 21 対応項目)
8) 環境教育の実施

4 - 3 . 環境目標 (短期・長期) の考え方

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の必須 3 項目については、短期目標ならびに長期目標を下記のように設定しました。

■環境目標の設定(必須3項目)

環境目標項目	2009年度目標 (H21.1~H21.12)	2010年度目標	2011年度目標	2012年度目標
		対象期間: 毎年1月~12月まで		
1. 二酸化炭素排出量				
1) 購入電力	2008年度実績値 1%削減	前年度実績の1%削減を継続		
2) 化石燃料 (ガソリン・軽油・灯油・LPG)	2008年度実績値 2%削減	前年度実績の2%削減を継続		
2. 廃棄物排出量				
1) 有価物 (紙類・ダンボール・かんび ん・ペットボトル・金属くず)		前年度実績の1%削減を継続		
2) 一般廃棄物 (厨芥ゴミ・その他不燃ゴミ)	2009年度は1月~6月実績値 5%削減			
3) 産業廃棄物 (木製パレット・金属くず・発 泡スチロール・廃プラ)	2009年度は1月~6月実績値 5%削減			
3. 総排水量(水使用量)	2008年度実績値 1%削減	前年度実績の1%削減を継続		

化学物質使用量の削減、省エネ商品の販売促進など、自主設定環境目標については、短期目標ならびに長期目標を下記のように設定しました。

■環境目標(自主設定): 全社共通

項 目	2009年度目標 (H21.1~H21.12)	2010年度目標	2011年度目標	2012年度目標
		対象期間: 毎年1月~12月まで		
化学物質使用量の削減 (シンナー類・塗料類に含まれるト ルエン・キシレンの含有量)	使用量の把握 2008年度実績値 5%削減	前年度実績の1%削減を継続		
省エネ商品の販売促進	エコキュート50台 エコクール5台 省エネ照明器具2200台 省エネエアコン(ズバ暖含む) 180台 空調機インバータ化提案 及び工事3件	前年度実績を上回る台数を販売する		
省エネに関する情報提 (商品説明会の開催)	10回以上開催	前年度実績以上の回数(参加者)を維持する		
地域環境保全への協力	環境保全活動団体に 組織として加入	環境保全活動団体等が企画する事業に積極的に参画する		
環境教育の実施	環境教育計画に従って 確実に実行する	毎年、環境教育計画を見直し、実効性のあるプログラムを企画し、実行していく。		

4 - 4 . 環境目標値と取組の結果

2009 年度の取組結果の総括を下記に示します。

項目	2008年実効値 (8~12月)		2009年目標値 (1~12月)		2009年実効値 (1~12月)		目標 達成率※
◎二酸化炭素排出量							
■本社							
1) 電気	26,570	CO2-kg	71,305	CO2-kg	62,222	CO2-kg	114.6%
2) 化石燃料	70,153	CO2-kg	155,713	CO2-kg	183,830	CO2-kg	84.7%
■酒田							
1) 電気	4,482	CO2-kg	21,199	CO2-kg	11,500	CO2-kg	184.3%
2) 化石燃料	26,972	CO2-kg	60,088	CO2-kg	56,825	CO2-kg	105.8%
■南陽							
1) 電気	5,284	CO2-kg	15,892	CO2-kg	11,845	CO2-kg	134.2%
2) 化石燃料	23,988	CO2-kg	57,063	CO2-kg	47,970	CO2-kg	119.0%
■ 全社	157,449	CO2-kg	381,270	CO2-kg	374,192	CO2-kg	101.9%
◎廃棄物排出量							
■本社							
1) 有価物		kg	9,952	kg	12,070	kg	82.5%
2) 一般廃棄物		kg	3,612	kg	3,990	kg	90.5%
3) 産業廃棄物		kg	1,716	kg	2,300	kg	74.6%
■酒田							
1) 有価物		kg	5,208	kg	5,872	kg	88.7%
2) 一般廃棄物		kg	1,258	kg	1,289	kg	97.6%
3) 産業廃棄物		kg	0	kg	424	kg	0.0%
■南陽							
1) 有価物		kg	2,556	kg	3,035	kg	84.2%
2) 一般廃棄物		kg	670	kg	803	kg	83.4%
3) 産業廃棄物		kg	264	kg	191	kg	138.2%
■ 全社		kg	25,236	kg	29,974	kg	84.2%
◎総排水量(水使用量)							
■ 本社	476	m ³	1,000	m ³	941	m ³	106.3%
■ 酒田	73	m ³	128	m ³	123	m ³	104.1%
■ 南陽	51	m ³	92	m ³	96	m ³	95.8%
■ 全社	600	m ³	1,220	m ³	1,160	m ³	105.2%
◎化学物質使用量の削減 (トルエン・キシレン含有量)							
■本社							
1) シンナー類	179	kg	170	kg	186	kg	91.4%
2) 塗料	539	kg	512	kg	413	kg	124.0%
計	718	kg	682	kg	599	kg	113.9%
◎省エネ商品販売・情報提供等							
■全社							
1) エコキュート	27	台	50	台	58	台	116.0%
2) エコノクール	2	台	5	台	0	台	0.0%★
3) 省エネインバータ化提案及び工事	2	件	3	件	4	件	133.3%
4) 省エネ照明器具	—	台	2,200	台	1,931	台	87.8%
5) 省エネエアコン(ズバ暖含む)	—	台	180	台	184	台	102.2%
6) 情報提供・勉強会	—	回	10	回	13	回	130.0%

※ 目標達成率については、100%以上が目標達成です。

※ H21 年度化学物質(トルエン・キシレン) 使用量削減については前年比5%削減と使用量の把握とする。

5 . 主要な環境活動計画の内容

5 - 1 . 二酸化炭素排出量削減

1) 電力使用量削減

- * 休憩時間等の不要な照明の消灯
- * 冷暖房温度の管理（冷房 27 以上、暖房 21 以下）
- * PC を省エネモードに設定
- * 水銀灯の適正管理
- * 乾燥炉・塗装ブース等の運転の効率化（作業工程の改善）
- * 消雪用ロードヒーターの適正管理（管理基準の作成）
- * ルーフヒーターの適正管理

2) 化石燃料削減

- * 車両日報の整備（走行距離・燃費を管理）
- * エコドライブ（アイドリング停止・法定速度の遵守・急発進急加速の禁止）
- * 始業点検の実施（空気圧・オイルの汚れ等）
- * 最短運行ルートの確認と情報の共有
- * TV 会議システムの有効利用
- * 暖房温度の適正管理（21 以下）
- * 乾燥炉運転の効率化（作業工程の改善）

5 - 2 . 廃棄物排出量削減

- * OA 紙の裏表利用・縮小コピーによる枚数削減
- * ダイレクト FAX の活用促進
- * メール利用促進
- * 販促資料は必要枚数送付してもらう（メーカーへの協力要請）
- * 電子カタログの活用促進
- * 分別収集徹底と保管場所の管理
- * ビン・缶・ペットボトル類の廃棄物削減（外からの持込禁止、マイ水筒運動の展開等）

5 - 3 . 総排水量の削減

- * 蛇口水圧の調整（元栓バルブの調整等）
- * 節水コマの取り付け
- * 手洗い時の節水（掲示による啓蒙活動）

5 - 4 . 化学物質削減

- * 塗料・シンナー使用量の削減（作業工程の改善）
- * 有害成分含有量の少ないシンナー等の選定
- * 粉体塗装の推進

5 - 5 . 省エネ商品の販売と情報提供

- * 製品説明会や販促イベントの開催
- * 営業担当者の勉強会開催

5 - 6 . 地域環境保全活動

- * 清掃美化等ボランティア活動



< 清掃活動の様子 >

6 . 環境活動の取組結果の評価

6 - 1 . 二酸化炭素排出量

【本社】電力消費に伴うものは、14%の削減となりましたが、これは経済不況下での休日増が大幅な削減の要因、加えてルーフヒーターの管理見直し冷暖房温度の管理や無駄な照明の消灯などの節電効果が表れたものと思われます。化石燃料の消費に伴うものは、16%増となり目標をクリア出来ませんでした。これは灯油分(パーカー処理)増加が要因。但し、前年の1月から11月までデータが無いため比較は不的確です。尚、LPG(乾燥炉)は仕事量に比例するが灯油(パーカー処理)は必ずしも比例しません。パーカー処理時、水槽湯温40度C以上が条件なので、一旦、仕事が切れ水槽が冷めると暖めるのに多くの灯油を必要とするので効率が良くありません。灯油・LPGに関しては前年度データが不具合なので、2010年度は2009年度実績を基に別管理をしていきます。目標に掲げたガソリン・軽油は、エコドライブの啓蒙や燃費効率の良い車の買換えで5%減と達成出来ました。

【酒田】電力消費に伴うものは、当初目標に対し1月～6月までが46%と削減率が余りにも大きいので、後半は前年度同期比の-3%に目標を再設定し取組みをした結果、46%の大幅な削減となりました。これは経済不況下での休日増が大幅な削減の要因、加えてロードヒーターの管理見直しと冷暖房温度の管理や無駄な照明の消灯などの節電効果が表れたものと思われます。化石燃料の消費に伴うものは7%の減、目標に掲げたガソリン・軽油はエコドライブの啓蒙などで6%減と達成

【南陽】電力消費に伴うものは26%の削減となりましたが、これは経済不況下での休日増が大幅な削減の要因、加えてルーフヒーターの管理見直し冷暖房温度の管理や無駄な照明の消灯などの節電効果が表れたものと思われます。化石燃料の消費に伴うものは18%の減、目標に掲げたガソリン・軽油はエコドライブの啓蒙などで18%減と達成

6 - 2 . 廃棄物排出量

廃棄物排出量については、以前の記録が不十分なことから2008年度8月から分別方法を定めた上で、適切に排出量を把握し、2009年度は経済不況の予測から1月～6月の実績の5%削減を目標に取組みの結果、目標に対し、一般廃棄物91%、産業廃棄物68%、全体で達成率84%と目標を達成出来ませんでした。但し、分別方法を定めたことでリサイクルされる有価物(紙類・かん・びん・金属くず)が前年比118%でした。

今後、両面コピーの徹底やメールの利用促進及び単純焼却の一般廃棄物と廃棄物最終処分の産業廃棄物(木製パレット・その他金属くず・廃プラスチック)の削減に向けた取組強化をしていきます。

6 - 3 . 総排水量

【本社】総排水量については10%減の目標を達成ですが、これは経済不況下での休日増、並びに節水啓蒙活動と節水コマ取り付けの効果が出ていると思われます。

【酒田】1月～6月の実績が当初目標に対し68%と余りにも削減率が大きいので、再度見直しをして年間目標値を前年比30%減に再設定し取組んだ結果、33%減の目標を達成、これは経済不況下での休日増、並びに節水啓蒙活動の効果が出ていると思われます。

【南陽】経済不況下での休日増などの要因もあり、1月～6月の実績が当初目標に対し68%と余りにも削減率が大いなので、再度見直しをして年間目標値を前年比16%減に再設定し取組をしたのですが、10月まで104.4%(対目標)とオーバーしているため、10月以降更なる節水啓蒙活動などで取組みをしたが、結果的に4%増と目標をクリア出来なかった。しかし、前年比で見ると12%減で終了することが出来ました。

6 - 4 . 化学物質使用量

前年度(2008年)は製造部で使用しているシンナー、塗料、パーカー関連薬品について使用量を把握、シンナー等の使用量削減のため作業工程の見直しも行いました。2009年度は、その実践により改めて使用量の把握と5%削減の数値目標を設定し、活動を行いました。シンナー類 416L、塗料類 1,040Lですが、トルエン・キシレン含有量はシンナー類 186kg、塗料類 413kg、合計 599kgで前年比12%減と目標を達成出来ました。

6 - 5 . 省エネ商品の販売促進と省エネに関する情報提供

エコキュートは50台の販売目標に対し58台、省エネインバータ化提案工事は3件に対し4件と目標をクリア、エコノクールについては5台の目標に対し実績“0”ですが三菱電機メルスノー(ヒートポンプ式融雪機)を2台販売。尚、次年度(2010年)に延期なった物件が2件あります。省エネエアコンは目標180台に対し184台と目標クリア、省エネ照明器具は2,200台に対し1,931台で目標を達成出来ませんでした。

顧客に対する情報提供については、展示会、講習会を計10回(延べ13日間)実施しました。社員向け研修会も4回実施しており目標値の10回はクリアしています。

6 - 6 . 地域貢献活動ならびに環境教育

地域貢献活動として、山形県環境保全協議会へ入会しました。今後、同団体が主催する行事、イベントなどに積極的に参画していくことにします。また、会社周辺の清掃活動を3月に全社一斉に実施、尚、4月に立谷川機械工業団地共同組合の清掃活動として側溝の泥上げやゴミ拾いを実施しております。

主な環境教育としては、8月にも環境推進委員にエコアクションのシステムに関する実践的な教育を実施しています。全体教育としては、エコドライブに関して安全運転協議会・他のメール及びビデオ配信などをして啓蒙をしています。又、毎週の朝礼時は各自持ち回りで環境目標を唱和しています。今後の課題として、環境コンサルタントに依頼やアドバイスを頂きながらエコアクション21に関する全体教育の実施を進めていく予定であります。

7 . 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境法規への違反・訴訟は、現在までありません。また、環境関連法規への遵守に関しても問題ありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、創業以来、一度もありません。



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社、各営業所の窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21認証取得後は、弊社HP (<http://www.takashima-denki.co.jp/>) または、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒990-2251 山形県山形市立谷川1丁目1059-6

高島電機株式会社

TEL023-686-5522 FAX023-686-5649